

平成29年第1回定例区議会

# 一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

**嶋崎 秀彦** (自民)

## 国際教育について

**問** 現状と課題は。また国際交流事業をより効果的に進める方策は。

**答** 時間数が課題だが、幼・保から小学6年まで外国語活動を実施。方策はICT活用による遠隔授業等を検討。

## 海外都市姉妹提携について

**問** 区民全体の国際感覚を育み、区を日本一国際化の進んだまちにするため、海外都市との姉妹提携に取り組むべき。

**答** 提携の分野や内容は多様であり、区議会や区民の意見を聞き、検討する。



世界と広く交流を

**池田 ともり** (自民)

## 「食品ロスの削減」を食育に

**問** ①食育推進計画の成果・課題・今後は②ロスを防ぐため、使う分だけの食材を購入する買い方等を推奨すべき③持て余した食材での料理教室や、ゲーム形式でロス発生原因を学習するイベントや場を、区が広く提供すべき。

**答** ①計画の多くは目標値に近づいたが、生活の多様化等で、家族で食育に取り組むことが困難に。今後は区民・事業者との連携を拡大する②事業者には講習会等で、区民にはイベント等で啓発を行っていく③楽しく学ぶ提案は非常に効果的。前向きに検討する。



**永田 壮一** (自民)

## 高齢者の定義引き上げについて

**問** ①高齢者は75歳以上とする学術研究団体の提言を受け、区に影響は②経験・能力がある元気な高齢者の活用を。

**答** ①区独自の事業については、今後の見直しの中で検討が必要②人材情報の把握・活用を進める体制を整備する。

## プレミアムフライデーについて

**問** 月末の金曜日は早く仕事を切り上げ消費喚起し、余裕を持った生活につながる企画提案をしてはどうか。

**答** 職員への全庁的導入は困難。ロゴの活用や商店街への情報提供等を検討。



**松本 佳子** (自民)

## 千代田区女性史の継承について

**問** ①2000年に発行した千代田区女性史について、当時の制作方法を継承し、更に女性の歴史を掘り起こし、記録・伝承していくべき②千代田区ゆかりの本をまとめ、軽井沢の区有施設に千代田文庫の設置を。

**答** ①まず、当時の関係者から意見を聴く②当該施設を含め、保養施設廃止が区の方針。議会からの要請があれば、活用方法について改めて論議していく。

## 多様化された保育施設の見直し

**問** 今後も増加する多様な保育施設。区の指導體制・実態把握と支援は。

**答** 園長OBの巡回指導や公立・私立園の合同研修会を実施し、保育の質の向上を図る。

**米田 かずや** (公明)

## 第二次健康千代田21について

**問** 区民が主体的に健康づくりに取り組めるよう策定された「第二次健康千代田21」の特徴と基本的な考えを問う。

**答** 目標は健康寿命の延伸と早世の減少。区の取り組みの他、区民、保健医療関係団体等に取り組んで欲しいことを、ライフステージを7つに分け、段階ごとに具体的に計画に盛り込んだ。

## ピロリ菌、乳がん検診について

**問** ①胃がん検診にピロリ菌検査の追加を②現行のX線による乳がん検診で診断困難な体質の人にはその旨と結果を通知し、X線の検診を補完できる超音波検診希望者には検診費用の助成を。

**答** ①国の研究と動向を注視し検討する②分かりやすい情報提供を検討。補助は国の状況を注視し検討していく。

**岩佐 りょう子** (紡民)

## 退職職員の外郭団体等での活用

**問** ①職員の再就職の透明性・公平性を問う②職員が外郭団体の役員等に再就職することの役割は何か。

**答** ①外部委員で構成しチェック機能を持つ委員会の設置を検討②区で培った行政経験や知識を活用し、外郭団体の組織的機能を充実させる。

## 社会的養護への支援について

**問** ①児童相談所設置の準備状況②養護施設退所後の子どもの進路支援等と、里親制度に対し啓発を含めた推進を。

**答** ①子ども部と保健所の役割分担を見直し、一体となって切れ目なく子育て世代を支援するため、双方の機能をあわせ持つ体制の構築を検討する②里親制度の推進は大きな課題と認識。退所後の支援とともに鋭意取り組む。